

キッズみんなの日記

6月号

キッズみんなの日記も掲載を始めてから、早二年が経ちました。ちよつとした歴史になりつつあります。この二年の間、いつも思うのは、みなさんの文章がとても素直であること。のびのびと文章を書いて欲しいと願う私たちの思いが届いていることが、とても嬉しいですね。また、日を追う毎に表現力も豊かになり、なるほどこんな表現方法もあるのかと感心させられることもしばしばです。添削をしていますが、**キッズみんなの日記**を編集していても、皆さんの成長を日々感じる二年間でした。三年目に突入するこの一年もどんな日記に出会えるのか楽しみです。

今月は、GW中の楽しい思い出をつづつてくれた日記が多く見られました。特に、旅行を題材に選んでくれた塾生が多く、中には、旅行があまりに楽しく、何ページにも渡り旅行の一部始終(何時に何をしたらというタイムスケジュール)を細かく書いてある人もいました。ところが、肝心の「一番楽しかったこと」「一番心に残ったこと」が書かれていないものもありました。折角、時間をかけて書いても、これでは台無しです。日記帳に向かうとき、どの場面を中心に書こうか、ということ意識して書くだけで、ダラダラ書きから脱出できます。優秀作品に選ばれる塾生の日記は、そういうところが非常に上手く書いていて参考になります。

優秀作品紹介

★初級者(一・二年生)の部★

たん生日本パーティー

きょう、たん生日本パーティーをやりました。ケーキは、チョコレートケーキにしました。やっぱり、年に一度ろうそくをふく時は、一さい年とったなあと思います。家ぞくみんなから、

「おたん生日本めでどう。」

と言われたので、

「ありがとう。うれしい。」



と言いました。また、らい年もたん生日本パーティーをしたいです。(小二・WMさん)

「会話文をきちんとカギカッコを使って表現し、ほのぼのとした家族団らんのようなす上手に表現しましたね。「大きくならた」とか「成長した」ではなく、「年をとった」という表現がお茶目かわいらしい！」

★★中級者(三・四年生)の部★★

いこのはつぜく

今日は、いこのはつぜくをやりました。ぼくは、いこのかわいくて、たくさんわらわせた。

まだ、赤ちゃんだけけど、いつか一しよにかけこをしたいです。早く大きく、元気にそだってほしいです。

(小三・YS君)

おみまい

今日、わたしは、ママのおみまいに行きました。ママはおなかのびよう気です。だから、わたしはおみまいに行きました。ママはねつがあつたのでしんばいでした。

その日は母の日だったので、わたしはママにカーネーションをあげました。ママは少し元気になったのでよかったです。(小三・ARさん)

ロードレーサーで走ったこと

今日、えど川サイクリングロードをロードレーサーで走った。

なの花の間を走ったら、虫もいっぱいいた。はな水もいっぱい出た。

でも、走ったことのほうが気持ちよかったです。

(小四・KY君)



まず、ロードレーサーをさっそうと乗りこなすY君の姿が想像できますね。ところが、菜の花畑の中、鼻水を出しながら虫と格闘する姿へと一気に変わり、笑いを誘います。対照的な事柄を対句的表現にしたところが見事です。

たんじょう日

今日は、じいちゃんのたんじょう日でした。今日でじいちゃんは七十七才になりました。じいちゃんは耳が聞こえないので、ホワイトボードに書いて話します。

じいちゃんへのたんじょう日プレゼントは、「楽しくホーン」という耳と口をホースでつないで声を大きくする道具です。

じいちゃんは、ぼくがあげた道具を「よく聞こえるね。」

と言ってくれました。うれしかったです。(小四・KD君)



母の日

今日、母の日だったのでお父さんとお花とおムライス

の材料を買いに行きました。おムライスの材料はお父さんが、お花は私が選びました。

家に戻ったらすぐに、お母さんに「いつもありがとう。」

と言ってお花をわたしました。

四時半になったので、オムライスを作り始めました。具になるピーマンを切りました。ほう丁がこわかったのでお兄ちゃんにかわってもらいました。私はかわりに、お米をときました。サラサラしていて気持ちよかったです。

そして、オムライスができあがりしました。一口食べてみるとすごくおいしかったです。また今度食べたいです。

(小四・NHさん)

母の日の「プレゼント」に的を絞り、上手に書き広げていますね。お父さんやお兄ちゃんと協力した様子も台詞や擬態語(サラサラ)を使って生き生きと表現してあります。また、まじりのある良い文章ですが、素敵なプレゼントをもらったお母さんの様子や反応が書いていたら完璧でした。



★★★上級者(五・六年生)の部★★★

手作りの生キャラメル

テレビを見て、ぼくは生キャラメルを作ってみたくな
り、材料を買いに行きました。材料は、牛乳と生クリ
ームとはちみつとバナビーンズです。
家に帰り、さっそく生キャラメル作りを始めました。
こがさないようにかき混ぜるのが大変でしたが、うま
く生キャラメルができました。食べてみたら口の中でと
ろけました。(小五・WKくん)

「理由」「行動」の形で上手に文章を書き始めていま
文章の書き始めとして、非常に素晴らしいお手本です。
口の中でとろける生キャラメルの幸福感が目的を果たした
達成感とうまくだぶっています。無駄のない、とてもスマー
トな文章に仕上がりました！お見事。

田んぼにいった

今日、学校の授業で田んぼ作りに行きました。
ぼくたちは、先頭で歩きました。その二十分後につ
きました。



さいしよに田植えに入ったのはぼくたちで
した。入ったときに、ほとんどの人が転びま
した。だけど、ぼくは転びませんでした。あ
と、田植えで稲を入れるのが一番うまいと
言われたのでうれしかったです。
ぼくも転びそうになったけど、ギリギリセ
ーフで転びませんでした。田んぼは深いので
ぼくのひざまで入りました。少しだけズボン
がよごれたので、水でながしたけど落ちませんでした。
学校で流したら落ちたのでよかったです。
また、六月か七月に草むしりに行くので楽しみに
す。(小五・NT君)

クラスメイトの様子、自分の気持ちなどを織り交ぜなが
ら、田植えの様子を生きた生きた表現しましたね。田んぼの
深さなども、自分の体を使って上手に説明しています。最後
の一文は、次回への期待を書くことで、今日の田植えを楽し
んだことを上手くまとめました！



つらい応えん団

毎日毎日きつい応援団の練習があり、一日一日すっ
ごくつかれます。

けれど、最近、歌をだんだんおぼえられるようにな
り、だんだん声もはつきり出てきました。みんな、あま
り歌ってなかったもので、今年の応えん団、大じょうぶか
なと思いました。でも、自分がよく歌えたのでよかつた
です。(小五・AT君)

応援団になったことで、日々成長していく自分の姿を上
手に表現できましたね。また、まわりの団員の様子なども
書いてあり、ちょっと余裕さへ感じさせます。頑張っています
ね！「つらい応えん団」というタイトルにもかかわらず、内容
はとても前向きで爽やかな文章に仕上がりました。

ちょっとひとひといき

編集長市澤祥子の気まぐれコーナー

『キャラ弁』

次男も無事幼稚園に上がり、子育ても少し落ち着いてきた
かに思われる今日この頃です。しかし、子供が成長すると、
親の悩みも！もまた違った形で出てくるものですね。

先日、息子達の幼稚園では春の遠足なるものがありました。
普段は給食のある幼稚園なので、料理嫌いの私は大変助かっ
ていますが、遠足は別で、お弁当を作らなければなりません。
お弁当を作るといっただけで憂鬱さわりません。長男は更
なる注文をつけました。

「お母さん、キャラ弁作って！仮面ライダーとかウルトラマ
ンとかさ。」

次男までもが
「オレは、ポケモンのポッチャマね。」

仮面ライダーのシルバーとか何で作るのさ……。三才のくせ
にオレって何よ？大体、ポッチャマなんて水色のペンギンだ
よ？食欲失せるでしょう？と心の中でぼやいた私。

そういうえば、ニユースの特集などで、「キャラ弁」をこの
あげているとき、やけに真剣な眼差しで見ていることを思い
出しました。子供は、大人が何でもできると思っているのか
もしれませんが、大人にだって得手不得手というものがあ
ります。生まれてこの方、私の料理を食へてきたこの「G」



何を学習してきたのか、息子達よ……。

そうは言っても、無下に断ることもできず、インターネット
などで『キャラ弁』と検索すると出てくる！出てくる！キ
ャラ弁の数々。すこい！世のお母さん達の愛情には頭が下が
ります。わかつてはいましたが、私には無理だと再確認。
遠足当日は、おにぎりを動物型で抜き、卵焼きをハートの
形にして、大好物の唐揚げでごまかすのが精一杯。必死の努
力が伝わったのか、長男も次男も、機嫌良くそのお弁当を持
って遠足へ出かけていきました。

遠足から戻ってきたら誰と遊んだのかなど楽しかった話
をたくさん聞けるのだからと息子達の帰りを待っていました
た。ところが帰ってくるなり長男の第一声、
「こうしろう君すこいんだよ！ポケモンのキャラ弁だった
よ。ヒコザルだよ！モンスターボールまでついてたよ。」
と大興奮。※ヒコザルはポケモンの中のサルのキャラクター

来年の遠足が今から憂鬱になる、タメ押しの一言でした。
日記の中には、お母さんの手作り弁当をおいしく食べるシ
ーンがよく出てきます。「最高！」なんて誉め言葉を見るこ
うらやましい限りです。

うらやむだけで終わるのか、来年までに『キャラ弁』を修
得するのが、くだらなくも私にとっては重大な悩みです。

伊藤先生のおすすめ本

★初級者★

金のがちょうのほん
一四つのむかしばなし

みなさんがよく知っている「三匹のこぶた」ですが、本当の
お話はハッピーエンドではない？
福音館書店
監訳 リー・ブルック 絵/瀬田貞二・松瀬七織 訳

★★中級者★★

シャーロットのおくりもの

映画化もされている子豚と蜘蛛の友情物語
あすなろ書店
E・B 初作/ガース・ウィリアムズ 絵
さくまゆみこ 訳

★★★★上級者★★★★

トム・ソーヤの冒険

やんちゃなトムと友人ハックのワクワクするような冒険
福音館文庫
マーク・トウェイン 作/八島太郎 画
大塚勇三 訳



「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は梨香台
ゼミナール宛、または、市澤宛にどしどしお寄せください。
info@rikohdai.com shoko@rikohdai.com